

環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	14	事例No	9	依頼者	日進市立東小学校	実施場所	日進市立東小学校
実施対象	日進市立東小学校4年生（3クラス 計102名）						
実施日時	令和元年11月21日（木）10時30分～12時00分（1時間30分）						
テーマ	ESD 子ども教室						

●依頼内容

小学校4年生の総合的な学習の時間「もっと知りたい身近な環境」の講師を紹介してほしい。授業は生物多様性、地球温暖化、ESDや省エネルギーの分野で3回行いたい。

●講師：中部地方ESD活動支援センター、中部大学ESD/SDGsセンター 原理史氏

原氏はEPO中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方ESD活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、ESDをはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績があり、今回の依頼に適任と考えられ講師を依頼することとした。

●授業の内容

体験講座	授業は、講師がかつらと付け髭をつけた「X博士」に扮装して行われた。はじめに、X博士からパワーポイントを使った○、×クイズが出題され、子どもたちは自分の考えにしたがって、○のエリア、あるいは×のエリアに移動し質問に答えていた。	45分
ポスターの作成と投票、まとめ	子どもたちは数人のグループに分かれて、「自分でできる地球にやさしいこと」をテーマにどんな取り組みができるのかを考えた。そして、まとめた考えをマーカーを使って模造紙に書き込み、ポスターとして仕上げた。その後、各グループのポスターを壁に展示し、みんなで好きなポスターを選ぶ投票を行った。最後に、講師から投票結果の発表と講評、解説が行われた。講師からは、投票数の多い少ないで評価するのではなく、すべてのグループが考えた取り組みが大切であるという話があった。あわせて、地球にやさしくするための世界が決めた17の目標からなるSDGsについての紹介も行われた。	45分

●授業の様子

授業は体育館にて3クラス合同で行われました。X博士からの質問では、正しいと思えば○のエリアへ、間違っていると思えば×のエリアへ移動するかたちで回答することとなり、子どもたちは元気よく参加していました。「自分でできる地球にやさしいこと」を考え、模造紙にポスターとしてまとめる取り組みでは、後でみんなで好きなポスターを選ぶ投票が行われることになってきたこともあってか、グループのメンバーで相談しながら一生けん命取り組む姿が見られました。

授業は3クラス合同で行われた



自分でできる地球にやさしいことをみんなで考えた

